

植樹祭と清掃活動に参加しました

6月11日に行われた東通村緑化推進委員会（会長：越善靖夫東通村長）主催の「植樹祭」に、当発電所から15名が参加しました。当日は、地域の皆さまとともに、尻労（しつかり）地区において、コナラ、ブナ、ヤマモミジなどの苗木550本を1本1本丁寧に植樹しました。参加者は、緑あふれる東通村の自然を肌で感じながら、苗木が立派に育ち豊かな森林となるよう願いを込めて作業を行いました。

また、7月9日に尻労地区で行われた東通村・東通村教育委員会・東通村観光協会共催の「ジオサイト清掃活動」に、当発電所から11名が参加しました。当日は、尻屋崎ジオサイトに含まれる尻労漁港周辺地域において、参加者一同、下北ジオパーク構想の実現に向け、発泡スチロールや空き缶などを拾い集めました。



6月11日 尻労地区植樹祭



7月9日 尻労地区ジオサイト清掃活動

補助ボイラーからの重油漏えいについて

7月23日、補助ボイラー建屋（放射線管理区域外）において、補助ボイラー^{※1}（A）から重油2.25リットルが漏えいしていることを確認しました。

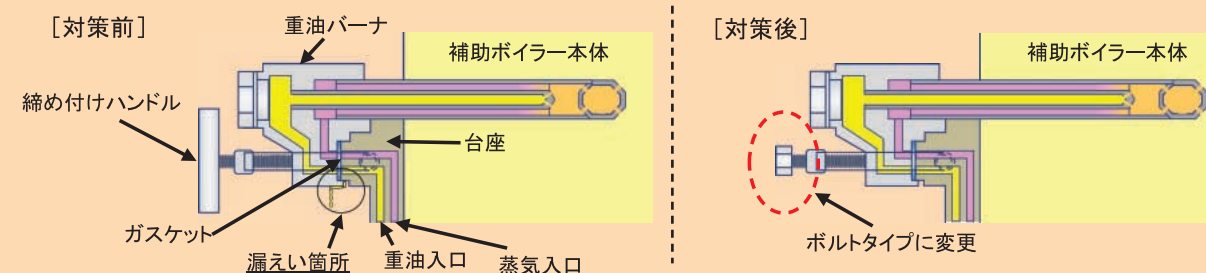
調査の結果、重油バーナと重油バーナを補助ボイラーに取り付けるための台座の継手部から重油が漏えいしていることを確認しました。原因は、重油バーナ清掃後の組立て時および補助ボイラー起動後に行った当該継手部の締め付けが不十分であったことに加え、補助ボイラー運転による加温の影響でガスケット^{※2}の密着性が低下したものと推定しました。

補助ボイラー（A）は、今回の原因を踏まえて策定した再発防止対策（締め付け部をボルトタイプに変更しトルクレンチ^{※3}による締め付けを行うなど）を実施し、8月3日に復旧しました。今後も設備の健全性維持に万全を期してまいります。

※1 重油を燃料とし、純水を蒸気に変える設備で計2台設置。作られた蒸気は、発電所の暖房用に使用されるほか、廃液を処理するための加熱用蒸気として用いられ、放射性物質は含まれていない。

※2 当該継手部の密着性を高めるための部材。

※3 ボルト等を所定の力で締め付けるための工具。



東通中学校において「ソフトテニス教室」を開催しました

当発電所は、8月3日、東通中学校ソフトテニス部13名を対象に「ソフトテニス教室」を開催しました。

当日は、青森県ソフトテニス連盟副理事長の豊巻哲司氏を講師にお招きし、ウォームアップでしっかりと体をほぐした後、試合を意識したフットワークやボレーの練習などを行いました。生徒からは「教えていただいた基本動作などを、今後の練習や試合で生かしていきたい」などの感想が寄せられました。

